



会報

昭和54年秋季
10周年記念号 NO. 13

10

- 機動性のあるもの
- 整備しやすいこと
- 経済的なこと
- 操作しやすいこと
- 安全なこと
- 耐久性のあるもの
- 音の静かな防音型



求める条件はいろいろでも

選ぶ機種はひとつです。

騒音や不快音をなくして、しかも耐久性のあるものを—デンヨーのエンジンコンプレッサーは、このテーマを独自の頭脳と技術で解決しました。コンパクトなボディにパワーを秘めた、高性能の頼れるコンプレッサー。音の静かな防音設計は、内外で高い評価を受けています。デンヨーのコンプレッサーは、このほかにも、安全性、操作性、経済性、信頼性、そして整備しやすさなど、いま求められる条件のほとんどすべてを備えています。これからのエンジンコンプレッサーは、きわだった特性というだけでなく、すべての条件を満たしているかどうかで選びたいものです。

■デンヨーコンプレッサーは防音型、標準型と機種が豊富です。お仕事にあわせてお選びください。また、全国アフターサービス網も完備しています。

■写真はPC(ポータブルコンプレッサー)といわれるようにコンパクトで機動性も抜群の新製品

防音型

DPV-125SS



デンヨー 防音型 エンジンコンプレッサー

吐出空気量
2.2m³~10m³/min

★ **デンヨー株式会社** 本社 〒164 東京都中野区上高田4-2-2 TEL (03)389-3111(代表)
支店営業所 札幌・奥羽・仙台・新潟・東京・北関東・横浜・静岡・名古屋・金沢・京都・大阪・広島
・高松・福岡・南九州 出張所 全国40都市

巻頭言



よりよき業界の実現を 目指して

(社)全国建設機械リース業連合会

会長 山内 鹿蔵

本日は私共全国建設機械リース業連合会が、創立十周年の式典を挙げるに当り、日曜日で御休養の処にもかかわらず遠路徳々顧問の諸先生をはじめ主務官庁、関係各界の御先輩の御臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

顧みますと、1970年代の末期にいたるまで、時代の趨勢、経済、社会の変遷の流れに伴い、建設機械の製造販売需要の中にあつて、時代の要請ともいふべき必要性に応じて、リース業の勃興は当然の現象であつたと思われまふ。

昭和30年前後より、建設業界の工期の短縮、技術の高度化、作業の省力化、工費のコストダウン、保有機械過剰投資の節減等合理化の為の要望に応じて、独立占業化の着想と各関係業界のベテランの方々のアイデア開発によるメンテナンス及びオペレーションリース創業に、業界の生いたち

会報第13号

目次

巻頭言・山内会長	1
連合会10年の歩み	3
第15回理事会	5
第6回定期総会	7
創立10周年祝賀式典	9
10周年記念表彰者	17
地区だより	19
編集後記・事務局便り	34

があったと思います。

その後、全国各地域における業者団体の組織活動が積極化し、昭和45年4月3日東京においてまず東京、大阪、名古屋の3大都市業者団体により、当連合会は発足いたしましたのであります。

惜しくも1期で亡くなりました私共の大先輩、当時の大阪リース業協同組合理事長脇田竹広氏を初代会長に推挙し、その後引続き全国各地域団体の順次加入を見まして、現在17団体、構成会員724社、賛助会員125社、所属従業員4万名を数えるにいたったのであります。そして、業界の拡充と共にリース・レンタル業界の市場に占めるシェアは70%に達する組織に発達した次第であります。

親睦交流に始まり、協会、協同組合に密着した全国連合会が如何に環境に恵まれたとは申せ、法定耐用年限短縮、社団法人の許可、建設重要関連産業の指定等、幾多の業歴を経を記録出来ました事は、沿革の浅い、謹か10年の歩みが大いなる前進をもたらしました。

創立当時を想い浮かべる時、隔世の感に打たれるものがあります。今日の栄誉にひたると同時に将来への責務が如何に重大であるかを痛感し、此の過程における顧問の先生、建設省はじめ各関係官庁、関係各界の御理解、御指導、御協賛はもとより連合会構成会員諸賢の、他の業界に比して稀なる認識度の高さと熱意協力の賜と深く感銘の念に堪えない次第であります。

創立10年の歴史の中で、上半期における高度成長時代、亦下半期における昭和49年秋以降のオイルショック、総需要抑制による不況と丸3年に及ぶ苦境は、工事の大幅削減と建設業界の不振にとともに過当競争もその極限に達し、一時はリース業界の浮沈を危ぶまれ、これに対処してして会員諸兄の涙ぐましい経営の合理化努力は勿論、

各協会連合会一件となって、あらゆる難問題打開の為、論議、協調、実践の結果と、その後幸い52年秋頃よりの政府の景気浮揚対策と相俟って、同年度補正予算拡大、又53年度は公共投資を柱とした34兆大型予算に恵まれ、辛じて不況を脱出、甦った次第であり、活発な稼働を取戻した一年でありました。

引続いて大平内閣が証言による政府主脳の改革と共に、54年度も38兆にのぼる超大型予算は公共事業重点に、住宅開発、文教福祉施設、道路、港湾、その他災害対策など、一般土木建設工事の増大にしたがい、機械機材の稼働も益々活発化しており、今は唯々民間設備投資の復活へ期待をかけて居るのが業界の念願であります。

然しながら、例年の通り新年度へ切替と共に例外地域を除いては全国的にはシーズンオフに入り、今秋以降の最盛期に備え、完全整備と安全確保に万全を期して、会員各工場における整備開発に繁忙を極めて居る現状であります。

今後55年以降、国際経済状況の変化が国内の経済にいかなる影響を及ぼすか、我々の業界にプラスかマイナスか、どの様に関係があるかは、専門の先生に伺うことといたしたいと思います。

長期に涉ったベトナム戦争の終結以来、イランの革命、中東の和平、中国とベトナムの動乱と、いずれも平静を取戻したとは云え、復活の為傷跡は厳しいものがありますが、日中友好条約の締結は、長い間沈黙を守っていた世界の大国である中国の態度が、恰かも世界平和への道を拓いている感もあり、日本国内では、一昨年より昨年にかけての異様な円高貿易輸出に対する世界各国の手厳しい抵抗に対する政府の最善の対策により、国内需要主導の姿勢から今年に入り円高から円安に移行、貿易黒字も減少し、為替レートは200～220台に定着するであろうと云うのが金融筋の

見通してありますが、国際的にはイランの石油引上げをきっかけに、アラブ各国の石油値上げの再燃、国内における公共料金の引上げ増税、地価の騰貴、卸売物価の値上がり等、インフレ要因も多分に漂っており、今日の日銀公定歩合0.75%を発表実施は引締めのはしりかと推察いたします。

このように国際国内的経済状況から見て、今後後進国へ援助の拡大財政支出の国債依存率の膨張等、インフレ防止対策は当然の措置とも考えられ、したがって緊縮節約普及と共に低成長に向いつゝあるのではないのでしょうか。

さて、現在連合会の取組んでいる問題テーマは、
(1)近促法に基く業種指定の認可陳情中であり
(2)現在施行されている車両系自主検定制度と相俟って連合会サイドにおける安全管理基準策定による自主検定制度実施にあります。

(3)地位の確立向上の為、登録制度採用請願。

以上3項目であり、関係官庁である建設省、労働省他懇切なる行政指導の元に、その実現の為夫々担当委員の執念的努力によって着々進行中であります。

このように、本日の式典を意義のある思い出に致し度いと思っておりますので、どうか全国会員の諸賢が、更に今後の十年に一段と前進せられると共に皆さんの代表である社団法人全国建設機械リース業連合会が、JRAのシンボルを中心に、充実した運営、活発な活動が出来る様、倍旧の御努力と御協力を下さる様お願い申し上げます。

終りに、本日御来臨を賜りました御来賓の諸先生方に今後共当連合会に対し、一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう懇願申し上げます。挨拶を終らせて戴きます。

(10周年記念式典メッセージより)

連合会10年の歩み

1. 組織の沿革

昭和44年7月17日、18日、東京、大阪、中部各協会代表者が大阪において会合、ここに業界待望の全国建設機械リース業連合会が誕生し、事務局を大阪に置き、初代会長に大阪建設機械リース協同組合理事長脇田竹広氏が就任した。

昭和47年度より事務局を東京に移し、第2代会長に東京建設機械リース業協会会長山内鹿蔵氏が就任した。

昭和49年10月18日付で建設省より、建設省東文発第275号により社団法人として許可を受け、引き続き山内鹿蔵氏が法人初代会長として就任、現在に至っている。

2. 連合会の目的達成のため実行に移されているものについて

- (1) 正常取引及び適正料金の設定指導
- (2) 遊休機械の交流
- (3) 情報の交換
- (4) 耐用年限短縮請願(認可昭和47年3月22日)
- (5) 安全月間の実施
- (6) 産業区分確立の為の請願(公示昭和47年4月1日)
- (7) 公害防止の為音防等メーカーとの協力指導
- (8) 建設業者の許可申請時の営業事項の改訂に

第15回理事会

1. 日 時 5月27日(月) AM11;—
PM0;05
 2. 場 所 熱海市銀座町1-16 アタミ
ニューフジヤホテル1F
 3. 参加人員 理事29名、監事3名中、
理事出席21名、代理出席3名、
欠席5名、監事出席2名、代理
出席1名
 4. 司 会 香取専務
 5. 成立報告 香取専務
定款23条による定足数は、理
事29名、監事3名中、出席理
事21名、代理出席3名、欠席
5名、監事2名出席、代理出席
1名あり、2分の1以上の出席
あり有効と認めます。
 6. 会長挨拶 山内 鹿蔵 会長
本日は、15回理事会、第6回
定期総会、10周年式典と行事
が重なっておりますので、スム
ーズに会議が進行いたしますよ
う協力と審議を願います。
 7. 議長選出 司会より定款22条の2項によ
り会長が議長となることを規定
いたしておりますので、議長に
山内会長になって頂きます。
(了承)
- 議事録署名人
中部 近藤昌三
静岡リース 松井重雄
を指名した

8. 議案審議
(1) 昭和53年度事業報告承認の件 香取専務
議案書1頁から11頁までが53年度中の
事業報告の概要であります。よろしくご検
討願います。
議 長 ご検討如何でしゅう異議がなければ
拍手をお願いします。(拍手で可決)
- (2) 昭和53年度収支決算承認の件
香取専務
議案書の12頁～16頁までが53年度分
収支決算であります。中沢会計士に依頼致
しましたので間違いはないものと思いま
すが、ご検討を頼みます。
議 長 如何がでしゅうか、よろしかったら
拍手でご了承を、(拍手で了承可決)
(会員数は623社)
事業、会計監査報 石井監査
昭和53年度(自昭和53年4月1日 至
昭和54年3月31日)決算書類並びに関
係諸帳簿を厳重に照合監査しました結果、
正確なものと認ますとの報告あり。
- (3) 昭和54年度事業計画承認の件
香取専務
議案書18頁の通りであります追加すべ
き点、削るべき点等ありましたらご検討を、
なお表題の左に第3号議案とありますが、
これは第4号議案でありますので、ご訂正
を
議長～異議がご座いませんでしたら拍手で了
承を異議なく拍手で可決。
- (4) 昭和54年度収支予算承認の件 香取
議案書の19頁～22頁まででこれも中沢

より保有機械規制解除となり、リース・レン
タル業者への依存度深まる(昭和48年10
月15日、同49年1月より実施)。

- (9) 石油危機時、ゴムベルト、ホース類の狂騰
の鎮静化の為、通産省に行政指導の徹底具申
により、メーカー、商社値下げを実行(昭和
49年3月)
- (10) 原価計算々定要領(綱)の作成により、適
正標準料の推進指導を建設省より受ける(昭
和50年4月1日より)。
- (11) 機種別保有台数調査集計表を作成、全国の
会員、アウトサイダーを含めた保有台数集計
表作成、建設省に提出指導を受ける(昭和
50年4月1日より)。
- (12) 建設機械整備技能検定を国家試験として労
働省に実施を認められ、各都道府県毎に実施
される(昭和49年度後期より)。
- (13) リース・レンタル業の実態調査第1回、第
2回を建設省と協力実施行政指導に資す(昭
和50年6月、同12月の2回)。
- (14) 雇用調整給付金支給対象業種の指定を受く。
49年後期よりの総需要抑により、需要激
減となり業界の不況大なるものあり、労働省
に対し、不況業種指定方具申請可された(労
告示昭和50年12月1日より半年延長昭和
51年5月1日より11月30日まで)。
- (15) 近代化促進のため
A. 全国代表者によるアメリカ・レンタル業
界視察を実施(昭和48年6月)。
B. 全国代表者によるヨーロッパ・レンタ
ル業界視察を実施(昭和50年11月)。
C. 全国代表者によるオーストラリア、ニュ
ージーランド業界視察を実施(昭和53年
11月)。
以上を夫々実施全国業界に多大な資料を提
供、運営に貢献した。

(16) 登録制度推進のため

昭和52年6月6日、建設省建設機械課に
申請書提出について相談に行く。

昭和52年10月4日、同上申請書(陳情
書)を提出。

昭和52年10月26日、近促法陳情書に
ついて検討。

昭和52年11月24日、建設機械リース
業の中小企業近代化計画に関する請願書提出。
目下、建設大臣長谷川四郎殿のもとにおいて
進行中である。

昭和54年1月24日、業種指定の関係書
類を提出。

(17) 機械別保有台数の調査

昭和52年8月31日及び昭和53年8月
31日に夫々実施。

(18) 昭和52年6月3日、建設省、大手建設業
者、リース業連合会の3者による座談会を東
京商工会議所で開催。

(19) アウトサイダーの加入促進を計り、多数の
入会者を得た。

(20) 企業調査

企画委員長の計画にもとずき、昭和54年
3月25日付で調査を実施。

建設機械・資材基準策定委員会の推進、昭
和54年3月より推進中である。また、担当
地区割当機械・資材による策定検討を推進中
である。

3. 連合会の将来の目標(テーマ)

- (1) 建設省へ提出した適正規準料金(原価計算
々定要綱)の普及とモラルの遵守高揚。
- (2) 登録又は許可制度採用の具進を推進。
- (3) 政府資金の優先融資対策の具体化推進。
- (4) 重機部門、仮設部門の拡充強化。

公認会計士に検討頂きましたものでよろしく、ご検討を
人件費の備考、事務局長を専務理事として
はとの意見も出た。東京会費について明年
より全国に入れ算定する案あり。

議長～その他異議がなければ拍手にて了承を、
(拍手にて可決)

(5) 定款の一部変更の件 香取
定款2条中、従たる事務所(支部)は、の
うち

- A. 仙台市弓ノ町とあると仙台市福室に
- B. 福岡市博多区とあると福岡市東区に

支部住所が変わりましたので変更します。
議長一如何でしょう、異議なく拍手で可決

3) 名誉会員証について 山内議長
アメリカレンタル業者3名に名誉会員証を
贈る案、如何でしょう
了承事項として可決。
総会には報告事項とする。

9. 報告事項

(1) 近促法、業種指定申請経過報告

志茂委員長

ア. 企業の遅れを早く近代化して行かねばな
ない。規整は少しは必要である。

イ. どのような規整をすべきか。
売上規模をどの変にすべきか。

年間3,000,000円位で規整か。

ウ. 通産省からも連合会724社に通産省の
15社位を一諸に入れてもらいたいとの話
しあり、これについては、会長はあまりか
んばしくないとのことで、通産省の申し出
に回答された由。

近代化も秋ごろから更らに、プランのあ
り方について検討をしたい、その節は皆様
のご協力を頂き作りたいたいと思ますとの説
明あり。

(2) 管理基準基本計画策定について

坂井 企画委員長

管理基準策定については、すでに了承を頂
いておりますが、関係メーカーから資料提出、
規範援助、講師援助、お願を頂いているが更
らに関係メーカーだけでなく、有識者方の援
助をあをぐ様に追加を願いたい、専門委員会
により、検討して頂きたい。私としても協力
は十分致したい。

6月11日(月)P1;30より

名称 管理基準策定委員会と決定

委員長を 後藤 毅 に委任了承、同時に
企画委員会も開催決定。

(3) 労働省訪問関係

5月7日 安全衛生部安全課長及び専門官
を訪問し

イ. 自主社内検査を将来連合会の免許で出来
る様に願わないものか、連合会があること
を知らなかった、知って居れば十分連絡検
討出来たが、今すぐ連合会名で出すと云う
ことには出来ない。

ロ. 連合会が出来れば、人を集め、場所を設
定し主催開催した場合検査員派遣をして頂
けるものか、等の申し入れをした。

機械は6,000台あり、現在出来なけ
れば将来を、よくわかりました。

連合会予算のことに入り、結局

3,000,000円位いとのことで話した。
連合会を中心に検査業者の講習をいたし
たい等の申し入れをして参りました。

了承

ハ. 会報発行について 中村広報委員長
12 皆様におくばりしたものを作成
しました。

ニ. A I U 保険増額について
別添改訂版

全国建設機械リース業連合会共済制度の
御案内について説明、特にパンフレットの
3頁について、1社100,000円(年間
保険料)リース仮設機除く、リース仮設機
を含める会員の場合、年間リース売上高、
下記の通り

1億まで 150,000円

2 " 200,000円

5億まで 300,000円

5億円を越える場合は別途照会等の証明
あり

- 個別干渉しないこと
- 連合会とA I Uできっちり内容を決めて
もらいたい。

内容についての請約を、了承し上記内容
の増額案について了承された。

ホ. 建設省の実態調査について50年度
(前回)調査と変わったところは
福山理事

- 所属団体を記名すること。

第6回定期総会

1. 日	時	昭和54年5月27日(日) PM1;05~ PM2;35	本人出席	55名
			代理出席	18名
			委任状によるもの	5名
2. 場	所	熱海市銀座町1-16、 アタミ、ニューフジャ TEL 0557-81-0111 (大代)	4. 議	事
3. 構成員現在数	724社		午後1時05分、志茂監事(司会)開会宣言。	
代議員現在数	78名		引き続き香取専務より。	
代議員出席者数	78名		上記、3の内容による代議員の出席者数並び に総会の有効成立の旨説明後、林田理事(九州) より開会の挨拶に続いて、山内鹿蔵会長より、 本年は連合会が創立10周年を迎え、本総会の	

あと、3時より記念式典を開催することになっており、多数の来賓方がご出席を願うことになっておりますので、本総会をスムーズに、有意義且つ慎重審議を頂き、時間内に成立して頂きたいとの挨拶あり。

志茂司会より、議長選出について、代議員に計ったところ、司会一任とすることになり、中部の坂井照氏を議長に指名、議長より議事録署名人に北海道の伊藤鉄雄、東京の小俣實を夫々指名議事に入る。

第一号議案 昭和53年度事業報告書承認の件

香取専務より、お手元の議案書1頁～11頁までが第一号議案の内容であることの説明あり。

議長より、承認を求めたところ、満場一致異議なく本案を承認可決した。

第二号議案 昭和53年度収支決算書承認の件

香取専務より、前年同様発生主義を取ったこと、中沢公認会計士の監査を受け作成したものであることの説明あり、この間、石井会計監査より会計監事を作表して決算書、並びに関係諸帳等を厳重照会した結果正確なものと認めるとの監査報告あり。

議長が承認を求めたところ、満場一致異議なく本案を承認可決した。

第三号議案 会費値上の件

坂井議長より、諸般の社会状況よりみて、会費値上が求められ、先きの第14回理事会において、了承されたものであることの説明あり。

更らに香取専務より、昭和53年度までの会費1社月額3,000円交付金2,000円を、54年度よりは、1社月額3,250円、交付金2,000円とし実値上げ月額前

年度より250円上げの1,250円となるものであることの説明あり。

議長より、承認を求めたところ、満場一致異議なく本案を承認可決した。

第四号議案 昭和54年度事業計画案承認の件

議長より、議案書18頁第4号議案について、朗読説明あり。

議長より、承認を求めたところ、満場一致異議なく本案を承認可決した。

第四号議案 昭和54年度事業計画案承認の件

議長より、議案書18頁第4号議案について、朗読説明あり。

のち、承認を求めたところ、満場一致異議なく本案を承認可決した。

第五号議案 昭和54年度収支予算案承認の件

香取専務より、議案書19頁～22頁についての収入、収支予算策について説明あり。

20頁 2)支出の部の交付金の数字計算上のミス、26,000円とあるは、24,000円に、13,000とあるは、12,000円であること。その差額を22頁、予備費にプラスすることで訂正了承。

議長より、上記訂正にて、承認求めたところ、満場一致異議なく本案を承認可決した。

第六号議案 定款の一部変更の件

第2条中従たる事務所(支部)はのうち

(1) 仙台市小田原弓ノ町とあるを

仙台市福室に

(2) 福岡市博多区とあるを

福岡市東区に

香取専務より、上記(1)(2)の支部事務局の

住所が今度変更されましたので、変更する届を出すものであることの説明あり。

議長より、承認を求めたところ、満場一致異議なく本案を承認可決した。

議案外であるが、山内会長より発言あり、アメリカ・レンタル業連合会長ほか、2名に連合会の名誉会員証を贈呈することについての説明あり。満場一致で了承された。

5. 議事終了 坂井議長より、皆様のご協力

により、スムーズに議事が終了することが出来ましたとの挨拶あり。

6. 閉会の挨拶

北海道、佐藤欽雄氏より以上をもって、すべての議案を無事終了しましたとの閉会の辞あり。志茂司会閉会を宣言、ときに午後2時35分。

創立10周年祝賀式典



1. 創立10周年祝賀式典次第

昭和54年5月27日(日) 午後3時より

熱海市銀座町1-16

アタミ、ニューフジヤホテル

参会者 招待者 17名

賛助会費 37名

正会員 138名

計 192名 でした。

2. 司会

松尾 茂

不肖、私、東京協会の理事であります松尾が本日の創立10周年祝賀式典の司会を務めさせて頂く事になりましたので、よろしくお願い致します。

します。

3. 開会の辞 副会長 中村 憲殿



関係官庁、諸先生方および賛助会費皆様の御指導、御鞭撻を賜り、且つ会員各位の努力によりまして、今日ここに創立10周年祝賀式典を開催することが出来ました。心から皆様に厚く御礼申し上げ、この式典を盛大なものとしたいと存じます。

どうか今後とも当連合会を一層のご指導、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。開会のご挨拶と致します。

4. 会長あいさつ 連合会会長 山内鹿蔵殿 (巻頭言に掲載)



5. 10周年の歩み報告 副会長 永田仁作殿

建設機械のリース・レンタル業として始められたのは昭和28、9年頃、いわゆる戦後の国土復興が呼ばれ、復興事業が軌道に乗り始めた時、大阪でユーザーの要望により短期間の賃貸が始まったのです。



その後、東京・名古屋で団体が結成され、14年が経過致しましたが、その間に各地に業者が散在し、取引きのイメージがはなはだしく喰い違い、意志の疎通を欠き、取引きの困惑の原因ともなっておりました。このような問題を抱えている時、東京・大阪・名古屋の各協会代表者が大阪で会合を持ち、緊密なる協議をかさね、業界待望の全国建設機械リース業連合会が昭和45年4月に、大阪の脇田理事長を初代会長にめでたく誕生致しました。

その後、昭和47年に連合会業務の発展と事務の円滑化を図るため、事務局を東京に移し、第3回総会において、東京の山内会長を連合会々長に選び今日に至っております。そして昭和49年に建設省の社団法人の認可を受け、当連合会は一段と飛躍するとともに、日まじり発展し、現在全国17団体正会員724社の団体に成長致しました。当連合は、この間に耐用年数の短縮を実現、社団法人化の認可など苦難の中にも順調に歩みを続けてまいりました。しかしながら業界は、48年のオイルショックをまともに受け暗い長いトンネルの中に入り、過当競争による混乱をまねいた一時期もございましたが、連合会は、これら問題解決にあたるとともに今後の大きな目標として、リース・レンタル業の業種指定、登録制の実現を目差し、目下建設機械・機材の整備管理基準作成へと努力を重

ねております。

この10年を記念すべき一節に、今後の20年への2節へと大きく飛躍して行くために、お互いに反省を繰り返しながら将来への発展へと邁進すべく、ご来賓を始め、組合員のご支援とご協力を申し上げます。

6. 表彰

松尾司会より、表彰者の地区別、会社別、氏名を読み上げた。表彰者41名(別添)代表、日本電機、藤井会長、山内連合会会長より授与。

松尾司会より

(1) アメリカリース業連合会長

デイヴィット・E・ニューカー氏

(2) カリフォルニア州リース連合会々長

アラン・ピリングス氏

(3) ダイヤプロ・レンタル株式会社社長

ウィリアム・クッシング氏

の三氏に名誉会員証を贈呈。代表ウィリアム・クッシング氏贈呈した。

7. 来賓祝辞

(1) 参議院議員 古賀雷四郎先生

代 今井秘書殿

10周年記念式典本当におめでとう。

建設業関係の皆様には永年に亘り、公共事業等に尽力頂き乍ら、適般の円高不況等で御心労をおかけ致しましたが、現今では微少ながら景気も快復に浮上りつゝあると存じます。

会長さん会員皆様のご健康と御繁栄を心より祈ります。

(2) 参議院議員 坂野重信先生

代 信本秘書殿

本日の盛会に出席出来ず残念です。54年度は、予算で国債依存率40%弱、公共投資

は前年度と比べ22.5%と増加を見ている。

建設業の振興対策も検討中である。なんとしても受注量の増大が一番大切、特に中小企業の受注の確保、民間工事の拡大を図ることが重要な課題、私も建設関係議員の一人として豊かな国造りに公共事業等を、計画的に推進できるよう頑張ります。

最後に皆様の御健勝とご繁栄を祈ります。

(3) 建設省大臣官房建設課

課長補佐 海老原 明殿



10周年記念式典に当り一言お祝いを申し上げます。

10年の歩みの中に、大阪、東京、中部、を核として、724社による連合会一致団結されておられる由。法人になったのは、49年10月認可、オイルショックの苦しい時代を乗り越えられ今日至っている。

建設機械合理化の隘路等の保有機械調査等協力を頂いている、安定成長に進みつつある。現在の建設業が自社保有から、持つことでなく、使うことであると云うことになり、第3次産業と申しませうが、リース業界は年々脚光を浴びている。近促法に基づく指定業種指定を受けられるよう進めているほか種々進めている。お願いになろうかと思いますが、6~7月頃にかけて、アウトサイダーを含む実態調査をしたと思っておりますので、ご協

力を願います。

- (4) 労働省安全課 大島専門官殿
10周年式典おめでとうご座います。



機械力が伸び施工能力が増大しており傷害のない作業おと願っております。労働安全衛生法の中で建設機械リース業の場合立派なリース業者が、キチントした機械を使う方に貸して頂く様な方の規整を願ひ、協力して頂くことにより災害の防止に努めて居る。

自主検査については、6月30日よりキチントした機械を整備し貸して頂くよう協力して頂くことが、とりもなおさず、作業の発展に協力されることになり、災害の防止につながるものと思ひます。益々のご発展を祈り祝辞といたします。

- (5) 労働省職業訓練局 技能検定課
長野課長補佐殿



今日は10周年式典本当におめでとうご座います。

昭和49年度建設機械整備技能検定試験の実施に当りましては、連合会より検定員、技術員の派遣を頂きスムーズに進行が出来ました。心よりお礼申し上げます。

53年までに16,000人の受験者があり約5,000名が、技能士試験に合格されております。昨年職業訓練法を改正技能制度の整備拡充に努めている。技能労働者の真の向上を計りたい。連合会の益々のご発展を祈り挨拶にかえさせていただきます。

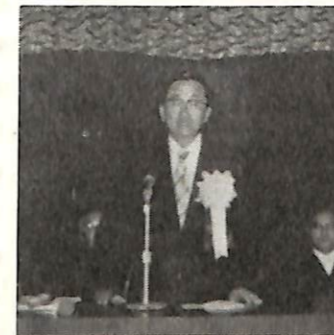
祝電朗読（松尾司会より発表された。）

- ① 内閣総理大臣 大平正芳先生
貴連合会の創立10周年記念式典に当り、各位の御健闘をたたえと共に企業の秩序ある発展を祈ります。
- ② 参議院議長 安井 謙先生
創立10周年記念式典の御盛會をお喜び申し上げますと共に、関係各位の皆様方の今後の御健勝と更らに一層の御活躍を祈ります。
- ③ 衆議院議員 三塚 博先生
創立10周年をお祝いすると共に貴会の益々のご発展を祈ります。
- ④ 参議院議員 古賀雷四郎先生
10周年を祝し御会の益々の御発展並びに皆様方の御健勝を祈ります。
- ⑤ 参議院議員 坂野重信先生
御盛會を祝し、益々の御発展と皆様方の御活躍をお祈りいたします。
- ⑥ 建設省事務次官 井上 孝殿
10周年記念祝賀会の御成功を祝し、益々の御発展をお祈りいたします。
- ⑦ 社団法人 日本建設機械化協会会長 加藤三重次殿
創立10周年記念の御盛會をお祝い申し上げます。

- ⑧ 江田 茂殿
創立10周年を祝ひ御発展を祈ります。

- ⑨ 中部建設機械リース業協会相談役 宮野正三殿
遙かに第六回定期総会の御盛會を祈り、併せて10周年記念祝典を心からお祝い申し上げます。

- 元 建設機械課長 桑垣悦夫殿
10周年記念式典おめでとう御座います。



昭和50年9月から53年5月まで課長を致しておりました。

この業界がこの様に発展いたしてあることを当時は知りませんでした。その後、私なりに検討しました。建設機械の施工技術試験を実施しているが、あまり受験されていないので、進めて参りました。リース業は通産省ではこのことなどあり、建設機械のリースが通産省ではなく建設省である、登録制の検討をとのことになり、まず資料の整備を急務とした。リース業が出来たのは、時代の要請により出来たものと思う。30年代になり耐用年数に関し検討された。建設省が機械購入無償代与制を初めた。10年位で民間に、払い下げられたことでリース業界の発展につながったものと思う。

今後の業界ののびについても、なかなか楽な見とおしてないと思ひます。11年目の努力を更らによりよい業界にして頂き、20年の式典

に又皆様とお会いしたい。

松尾司会より、外国リース・レンタル業界よりの10周年式典に対する、メッセージの朗読あり。

- ① アメリカレンタル業連合会長
デイヴィット・E・ニューカー氏より
創立10周年おめでとう。
- ② カリフォルニアレンタル業会長
アランド・ピリンク氏
創立10周年おめでとう。
- ③ オーストラリア・ハイヤー協会会長
ジョン・ミートン氏
創立10周年おめでとう。9月に第八回大会あり。日本よりも是非参加を。
- ④ ニュージーランド・ハイヤー協会会長
ゴートン・デール氏
創立10周年おめでとう。6月に第二回大会を開催、是非出席を
- ⑤ カリフォルニア州 ダイヤプロ・ビル会長
ミセス・マルガリート・クッシング氏
創立10周年おめでとう。
- ⑥ カリフォルニア州
サムスニューズ・ドライブ社長
ハリール・グリーンパーク氏
アメリカリース業連合会々長代理
ダイヤプロレンタル株式会社 社長
ウィリアム・クッシング氏



みじかい時間でやれとのことであります。
会長、来賓、会員の皆様にお祝い申し上げます。

皆様のところに和文のジムカーターが書いた、
“レンタル業界1984年を迎えて”があると思
います。内容についてはレンタル業者、メーカー、
ディーラー、政府の方が非常にきょうみをお持ちの
ことと思います。私の戦後の5年間の計画は、
1981年、昭和56年に世界大会を開くこと
である。レンタル・リース・ハイヤーの業界の
代表者が世界のどこか、中心になるところに集
って、世界の協会を作ることを話し合いたい。
私は残念に思うのは、若い人の出席が少ないこ
と、私を含めて大分年を取っている。私は
1952～27年の間業界にたずさはっている。
今後日本の若い人、アメリカの若い人達が後継
者として発展出来るようにしたい。

私は知っているが、カリフォルニア州、ロサ
ンゼルスで1932年、47年前レンタル業が
始められたと思う。その方がミスター・グリン
バーク、先程お祝いのメッセージがあった方で、
70才である。解決されない部分がたくさんあ
る。業界は西歴2000年になったとき、私企業
が多くの機械をもって仕事をすることは、なく
なると思います。

それは、レンタル業界の企業であると思います。
ここで終りたいと思います。1973年以来6
回、日本に来ました。来たと言うより何回も日
本にもどって来たと言うほうがよい。4月に2
回日本に来ました。皆様もみしらぬ仲でありま
せんので、是非アメリカに何度もおいで願いた
い。今後とも世界のレンタル・リース業界の友
好を深めて頂きたいと思ひます。

賛助会員代表

北越工業㈱ 佐山副社長殿

10周年式典を心よりお祝い申し上げます。
オイルショックの苦しい時代を乗り越え、今



日の盛大な式典を開催いたしましたのも、会長
始め会員皆様の努力の賜と思ひます。27年来
のアメリカの業界にひびきするもの、所有す
るのでなく使用するものであるとの話しがあり
ましたが、リース業界は将来益々発展されるも
のと思ひますので、どうかすばらしいバイタ
リティーを何時までも失うことなく、この10
年を1つのステップとして、今後更らに大きく
飛躍されますことをお祈りしまして、お祝いの言
葉に換えさせていただきます。

㈱ 日本建設機械化協会

リース・レンタル業部会長

西尾 晃殿

10周年の輝かしい会を持たれたことを心より



お祝い申し上げます。

これからがリース・レンタル業界の到来で
はないかと思われる。小異を捨て、大同団結し
より大きくはばたく時であると思ひます。機械

化協会に加入されましたことと喜ばしいこと
であります。お互い手をたずさいて、発展のた
めに進めて行くようにいたしたい。簡単であり
ますが祝辞といたします。

㈱ 全国クレーン建設業協会

松田副会長殿



10周年式典におめでとご座います。
私の方が2年程前に発足、連合会とは活発
な友好関係にあります。

クレーンはさることながら、10年前は、
ゼネコンがほとんどやっておられた。現在は
90%位いかりて、ゼネコンさんがやってい
る。安定成長時代、機械はエネルギーが主体、
オイルも上っている。これからが我々の機械
を活動させるかが問題である。全国的に組織
している以上地域毎の省力化してやる様にし
て行かねばならない。(例えば、東京の者が
大阪に機械を運搬作業をすること又、その反
対のこと等せず、その地の協会員に依頼する
ようにすれば、エネルギーの使用その他省力
化がされるもの)。

連合会の益々のご発展とご参集の会員の益
々の御健勝を祈り祝辞といたします。

8. 閉会の辞 理事 野口誠輔殿(中国会長)



本日は来賓から、有難い我々の為になるお言
葉を頂きましたことを厚くお礼申し上げます。
やっと10周年を迎えた。これだけ集めて頂い
た先輩方の努力に感謝申し上げます。これから
は安全管理とか価格の問題とか、お役所の方々
の御協力を頂き建設関連産業として、健全な発
展をとげなければならない。痛切に考えま
した。次の20周年記念式典の時は、10周年
はまだまだあぶなかったな、今度は立派な連合
会になったなと考えられる協会になりたいと思
ひます。

本日は本当に有難うご座いました。心からお礼
を申し上げ、閉会の辞といたします。

司会 松尾 茂(東京)

以上で本日の式典を終らせて頂きます。
まずい司会でありまして、お聞き苦しいところ
も多々あったことと思ひますが、皆様方のご協
力により無事終了させて頂きました。本当に有
難うご座いました。式典につきましては、以上
で終らせて頂きます。

9. 祝宴 祝宴司会

東京 小林鈴夫殿



(津軽ひろ子)



萬才三唱

通商産業省の実態調査についてのお願い

下記のように通商産業省より会員構成員各社の実態調査があるので、よろしくご協力下さい
連合会事務局

特定サービス産業実態調査

昭和54年10月15日

要旨抜すい

通商産業省

このたび通商産業省では、昭和54年特定サービス産業実態調査を実施することとなりました。この調査は、物品賃貸業他の7業種(特定サービス産業)に属する事業を営むすべての事業所を調査対象として行い、その業務活動や事業経営の実態を明らかにし、特定サービス産業の実態基本統計を整備するための調査です。

調査は11月1日現在で実施いたします。調査

に当りましては、都道府県知事から任命された調査員(調査員証を持っています。)がお伺いしますので、記入の仕方などについて判らない点があれば、調査員にお尋ねいただき正確な内容の調査票を必ず期日までに御提出くださるようお願いいたします。

この調査は、統計法に基づく指定統計調査として行われるもので、統計以外の目的、税金などのために使われることはなく、秘密は厳重に守られますので、ありのままをお書きくださるようお願いいたします。

創立10周年記念表彰者

地区別	表彰者会社名	氏名	備考
北海道	大和株式会社	坂井 照三	
"	株式会社イノキカ	野正 三	
"	近藤興業株式会社	藤昌 三	
"	小出商会	小出 精一郎	
"	太平リース株式会社	田正 男	
"	中京機械株式会社	二宮 緑郎	
石川県	株式会社吉川土木機械製作所	吉川 義孝	
福井県	福井産機販売株式会社	松田 碩太郎	
大阪府	勝田機械株式会社	脇田 竹廣	
"	株式会社関西西工	志茂 敏	
"	相互土建機械株式会社	小田切 治郎	
"	株式会社広津機械工業所	広津 三好	
"	株式会社ワキタ	砥石 治雄	
兵庫県	関西建設機械株式会社	桐月 正邦	
中国	富野精工株式会社	野口 誠輔	
四国	四国仮設工業株式会社	木下 洩一	
"	トヨヨリース株式会社	三原 達雄	
九州	西日本鉄道株式会社 建材営業部	林田 陽一郎	
本部事務局	社団法人全国建設機械リース業連合会	香取 哲男	
代表受領者	日本重機リース業協会 会長	藤井 孝治 殿	
地区別	表彰者会社名	氏名	備考
北海道	大和株式会社	伊藤 雄	
"	松本機械株式会社	松本 常義	
青森県	株式会社三浦	三浦 賢策	
宮城県	東北グループ株式会社	石井 嘉一	
福島県	大成工業株式会社	坂本 市郎	
東京都	三和リース株式会社	西垣 勝行	
"	株式会社オオタタ土鋼機商會	小俣 實	
"	三瓶重機株式会社	三瓶 徳司	
"	双葉リース株式会社	福山 勝	
"	関東フォークリフトサービス株式会社	松尾 茂	
"	小松物産リース株式会社	小松 平	
"	株式会社新川工業	小林 夫	
日本重機	日機工業株式会社	新川 大治	
"	関東重車株式会社	藤井 孝治	
"	松栄重機株式会社	後藤 毅	
"	ツクバ建設機株式会社	志茂 法人	
"	武久興業株式会社	大島 公夫	
神奈川県	大塚機械株式会社	齋藤 功一	
"	常盤工業株式会社	水品 潔	
静岡県	大興リース株式会社	源 作雄	
静岡県	三栄工業株式会社	近藤 重雄	

祝 連合会10周年

祝賀協賛 賛助会員
ご芳名

アイム電機工業(株)
 (株)サンテイ(AIU)
 アサヒ産業(株)
 有光工業(株)
 大阪発電機(株)
 (株)加藤製作所
 川口機械産業(株)
 久保田鉄工(株)
 建設機械調査(株)
 (株)小松製作所
 (株)トウカイポンプ製作所
 長岡技研(株)
 日熊工機(株)
 林バイブレーター(株)
 北越工業(株)
 三笠産業(株)
 日本車輛製造(株)
 スーパー工業(株)
 (株)明和製作所
 ヤンマーディーゼル(株)

光洋機械産業(株)
 酒井重工業(株)
 (株)桜川ポンプ製作所
 ダイハツディーゼル(株)
 大旭建機(株)
 (株)鶴見製作所
 デンヨー(株)
 トーメン建機販売(株)
 東京産業(株)
 東京トヨベツト(株)
 湯浅商事(株)
 ラサ商事(株)
 和光機械工業(株)
 (株)ワキタ
 渡辺機械工業(株)
 麓産業(株)
 大同生命保険相互会社
 東京企業保険支社
 キャタピラ三菱(株)

(順不同)

10周年記念 地区だより



「東北時代」への飛躍

宮城県建設機械リース業協会
 会長 阿部喜平

急速な変容をみせる国土開発の蔭の主役として、地味ながら着実な歩みを続けてきた全国建設機械リース業連合会が、発足してから、早いもので、もう十年目を迎えることになりました。みなさまとともに心からお喜びを申しあげたいと思います。

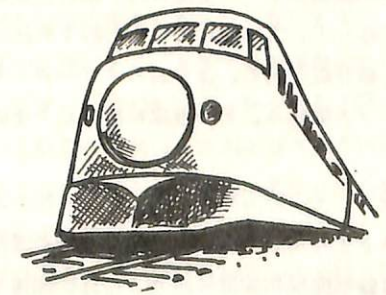
時代の要請で生まれたリース業界が、戦後の混乱期から高度成長時代、一転してドル・ショック、オイル・ショックによる不況を経験し、さらに円高による経済変動と、まことに激しい起伏を乗り越えているあいだに、一般国民のリース業に対する理解も深まり、業界が今日の地位を確立するまでになりましたのは、ひとえに、幹部各位のご指導と、会員みなさまの血のにじむようなご協力のたまものと感謝いたしております。

わが東北地方では、政府の第3次全国総合開発計画(3全総)がようやくその緒について、東北新幹線、東北自動車道、主要幹線道路あるいは都市再開発などの事業が着々と進められております。さらに国および各地方自治体では、「定住圏構想」に基づく地域発展計画を急いでいる段階で、まさに「東北時代の到来」といった感がございます。

東北地区としましても、すでに福島、青森の両県に協会が誕生したのに続いて、秋田、岩手、山形の三県でも協会の結成を準備中でございますから、遠からず東北を一丸とした一大組織が結成さ

れる運びになっております。

イランの政変に続くOPECの原油値上げで、20ドル原油時代に突入、省エネルギーを目標とした総需要抑制の足音が近付いている感じでございますが、こうした時代なればこそなお、われわれリース業界の直価が発揮されるものと信じ、国土開発のメダマともいふべき「東北時代」への飛躍のため、業界一丸となって精進する「お世話役」として、これからも働かせていただきたいと願っております。



協会あげて役割を実行

東京建設機械リース業協会

会長 山内 鹿蔵

我々の努力によって生まれた全国建設機械リース業連合会が、社団法人許可という輝かしい歴史の1頁を刻み、ここに10周年を迎えましたことは誠に喜ばしい限りであります。

10周年前の業界の原点を顧みますとき、現在の隆盛はただただ隔世の感を深くするばかりであります。

当協会は、大阪、中部の両団体と協力し、組織の拡充、向上の為に努力して来ましたが、それらの活動が、果して社会への貢献に役立って来たか、改めてその評価について見直し、そしてこの10周年を一つの節として考えることも必要と思えます。

その反省の上で今後10年、20年、30年をより実りあるものにしていかなければならないと痛感する次第です。

東京建設機械リース業協会は、経済の変遷激動の中であって、常に連合会の中心的な存在として期待と依存度を高め、連合会のスローガンや幾多のテーマと取組み、その達成に努力してまいりました。

今後も、その努力を続けていくことにやぶさかではありません。現在、全国会員の御要望に応じて、登録制度採用推進に絞り、これに関連する諸問題と取組み、一日も早く達成出来るよう、協会をあげてこの役割を実行しつつある次第です。

これからの10年は、次の節となるわけですが、経済事情はさらに厳しさを増していくことは想像にかたくありません。世界的には貿易収支の黒字

国と赤字国に分離し、国内的には産業別に好況業種と不況業種の2極化現象が発生し、その格差はより明確化されて来るでしょう。

そうした時代の中で、より高く、より強く成長を続ける為には、会員間の相互扶助的なチームワークが最も必要なことと思えます。

我々の活動に対して、深い理解と協力を切にお願ひし、共に連合会発展の為に道程を歩んでいくことを望んでやみません。

新年会の記録



振りかえって見た十年

日本重機械リース業協会

会長 藤井 孝治

10年一昔しとか、10年と言ふ年限はやはり永い様で短い歲月です。全建リース連をみても、会長は2代目、理事の何人かは替はっており、会員である協会も、あるいは消えあるいは増えと、有為転変はありますが、その構成員は700社にも及び、賛助会員をくわえれば1000社にもたつという、けっして小さな団体ではありません。

ただ当会が北は北海道から、南は九州迄、全国にわたっているので、一同に会する事が出来ないのは残念です。先日10周年記念の式典に204名参集したるはせめてものしあわせでした。たった一つの連絡機関はこの会報であろうと存じます。私も大いに利用させて頂いております。前号には我が日本重機の組織を述べさせて頂きましたが、今回は10年を振りかへてみたいと存じます。

国電恵比寿から渋谷に向かって10分ぐらい歩き木造2階建の事務所、全建リース連と東京建設機械リースの合同事務室でありました。10坪ぐらいの小さな事務所に、事務員と云えば新島女史一人、会議もやれば、事務も行うと、ささやかな事務所でした。しかし今振り返ってみるとなつかしさが残って居ります。あの机の上で喰ったソバも、寿司も、やはり恵比寿の味でした。全国から理事が集まると座るのに大変、木造の2階が落ちるんじゃないかと、心配するくらいでした。

それから香取専務理事が来られ、事務所も北越工業さんの御厚意で現在の御茶の水に替りました。ドーナツやの上にあるのであの油の匂いも鼻につ

いて来ました。腹のすいた時はハキケのする事もあります、あの臭いが協会の匂いかも知れません。

しかも会長室もあり事務室もあり、会議室もあり、時には応接間も使へるといふ、あのワンフロアは連合会に於て重要な役割りをしております。理事会も、合同委員会も、やれる。今日の発展の基礎につながっている事は忘れてはいけな事です。もちろん有能なる事務能力を持つ専務理事の努力も大いに買うべきだと思ひます。昨年から我が日本重機も連合会の事務所に御一諸させて頂いており、専任職員もおき、大いに便利をさせて頂いております。

連合会共々我が協会も大発展をしております。会員の増加、組織の強化等々、やはり自由につかえる会議室を持つと云う事は、協会として発展につながる一つの要素であらうと存じます。

全国の会員の中で、まだ一度も連合会の事務所に御出になった事のない方もおられると存じますが、上京された節は一度御立寄り下さい。我々の協会なのですてから。国電お茶の水から明大の方へ歩いて3分です。

協会のあるお茶の水から駿河台にかけて学生街として有名な処です。私がかよっていた50年ぐらい前はもう少し静かな街でした。特に7、8月の夏休みになると人通りもまばらな街に変わりますが、最近は何年か年中お祭の様なふんいきで学生が街にあふれております。一寸急いで協会に行

10周年記念

こうと思っても早足も出来ないくらい、人の流れにおされて協会迄行くと云うしまつです。昔の学生は教室で勉強し、下宿に帰って復習をしたものです。

今日では街で立話をし、喫茶店でおしゃべりをして、学生運動(イイ意味も悪い意味も)して卒業をしてゆく。昔は男ばかりの味気ない学校でしたが、最近は男女共学と、学ぶ事も学問の他にもあるのでせう。

もう一つ忘れてならない事は、当連合会の2代目山の内会長の事です。ボランティアと云う言葉が

連合会10周年の歩みによせて

兵庫県建設機械リース業協同組合
会長 桐月正邦

集中豪雨の爪跡を各地に残し、例年になく長く続いた梅雨も漸く上がったと思つた途端、今度は毎日毎日焼け付くような猛暑の連続で、早くも一部では水飢饉、給水制限が実施されている地区もあるとか、大自然の動きに抗し切れない人間世界のみじめさ、又それを一つ一つ克服しつ、進んで行く人間世界の雄々しさ、紙面をお借りし心より暑中御見舞申し上げます。

さて去る5月27日、熱海で開催されました連合会創立10周年記念式には、私共長年の仲間同志十数名列席させて頂き、目のあたり連合会10年間の隆々たる発展振りを見聞させて頂き誠に力強く感じさせられました。一口に10年と申しましても、連合会10年の歴史は、山内会長も申されているように、昭和49年の所謂オイルショックを境にし、前期5年は高度成長時代の波に乗った黄金時代、後期5年は総需要抑制による不況暗黒時代であったかと思はれます。(尤も後期後半

←地区だより

ありますが、これは社会奉仕をする事ですが会長も或る意味のボランティアではないでせうか。ま、口の悪い連中に云わせれば、『金とヒマがあるから出来るのさ』と云う人もありますが、金とヒマのある人は世の中にたくさんあります。やはり真剣に連合会の仕事に取り組む努力をされている事と、その統率力には頭が下ります。

恵比寿からお茶の水と共になつかしい協会の所在地で御在りますが、次の節目20周年には我々の努力によって会話を待つ事も夢ではないでせう。

10周年記念

←地区だより

連合会に期待する処は極めて多く大きなものがあります。丈もその衝にあたられる各委員の方々の御苦心ご苦労も又並々ならぬものがあるかと存じます。又やゝもすると、何もかも在京の組合員の方々と御無理申し上げている面も多々ある事も十二分に察知致しております。地方は地方で各

単協で連結を密にし、出来る限り連合会の負担にならぬ様、多少でも御手助け出来るよう頑張る積りでありますので、今後とも一段の発展に邁進下さいますことを願って止みません。尚前後に、尚暑さ厳しい折諸会員皆様方の御自愛と御検討を祈って止みません。

連合会十周年を祝う

四国建設機械リース業協会

社団法人「全国建設機械リース業連合会」10周年記念、おめでとうございませう。四国建設機械リース業協会々員一同心からお祝い申し上げます。四国地区におきましても、8年の歴史のあゆみをふりかえってみるに、感がい深いものがあります。当協会も当初香川ブロックのみで、将来業界がどうあるべきかと、模索していたとき、故協田会長から香川としてではなく、全国の中の四国として再考して欲しいし、又我々も出来る限り協力します。との力強いアドバイスがありまして「四国建設機械リース協会」が設立され、そして全国組織に加入させて戴き、四国支部としての身体が出来次第であります。その蔭には一部会員の方々の努力は大変なものでありました。発足当時は、少数の会員のため、まとまりはよいが事業活動を行うにも、あまりにも多くの問題がたい積しておりました。今日では20社にもあまる会員構成になりましたことは、思い出深いことでもあります。この8年間当協会も「減価償却」の短縮化「社団法人の資格化」又企業防衛のための「A I U 保険

の加入」「自主点検のための資格社員の養成」等々その進歩状況は当初の時点よりみますに、隔世の感があります。現在当協会も世紀の大工事「本、4連絡橋」の着工により、将来にかける夢と期待をもち、全建連との、

又中央とのパイプを太くしてお互に研さんし合うことにより、地域社会の中に深く根を伸ばし、協会も発展していくものと確信しております。自由経済のなか当業界も数多くの困難な問題を背おわされておりますが、その解決のためにも、お互が模索思考しながら共通点を描出し合う事が大切ではないかと思われませう。社団法人「全国建設機械リース業連合会」がこの10年を一つの節として、尚一層発展されることが絶体条件であると思ひますので、会長始め幹部方々の一段のご活やくを期待し、併せて我々地区協会の御指導をお願いするものであります。最後に社団法人「全国建設機械リース業連合会」10周年記念おめでとう、を重ねて申し上げます。

10周年記念

←地区だより



中国建設機械リース業協会
会長 野口 誠輔

暑中御見舞申し上げます。連合会創業10周年に当り、省みれば当中国地方に於ては昭和44年当時は広島県内及岡山県内に他地区のリース業者も開業されて居りましたが、売上額は静々2~3百万円程度の規模であったようです。翌45年より広島県、岡山県にリース業が引続いて開業され、昭和47年に夫々協会を設立し、翌48年に中国五県が一つの協会に統合されました。当時正会員数が36社ありましたが今日では正会員数53社、事業所数81となっております。協会の地域が広いので岡山、備後(広島県東部)広島、山口、山陰(島根県、鳥取県)の5地方部会を設けて、日常取引を出来る丈円滑に進め度いとお互に努力して居ます。当地方では軽機の取扱業者は殆んど協会に加入して居ますが、重機(主としてチャーター)及資材の取扱業者は加入して居りません。

全建リース建には昭和47年協会設立と同時に加入致しました。今後の業界の活動は単位協会丈では力が弱いので、社団法人全国建設機械リース業連合会に力を集結して活動する事が不可欠となって居ます。

只今は近代化促進法に基く業種指定の請願、管理基準制度の策定が進められています。更に業界の地位確立の為に登録制度の実施が絶対に必要だと思つて居ます。関係官庁の御指導を賜り、今後の活動を続けるに於ては、従来より一部後員諸賢は夫々自分の会社の業務御多忙の中で業界の度に御尽力を頂いて居り感謝して居りますが、会員全体の御協力を賜り、執行部の強化が必要な段階に来て居ます。次の〇〇周年には見違える程立派な社団法人全国建設機械リース業連合会に成長する事を念じます。

「連合会十周年の歩み」について

九州建設機械リース業協会
会長 林田 陽一郎

此の度の「連合会10周年の歩み」の発刊にあたりまして、ひとことごあいさつを申し上げますとともに、連合会会長をはじめ、関係者御一同の非常な熱意と御協力によりまして無事10周年を迎えられますことを、当協会会員一同に代りまして、謹しんでお祝いのご挨拶を申し上げます。

当協会は昭和42年に発足し、昭和46年に「連合会」に加盟いたしております。

次いで昭和49年10月18日に建設者所管、社団法人「全建連」が設立されると同時に当協会はその九州支部として再出発したのであります。

現在、当協会の会員数は正会員40社、賛助会員24社、合計64社と数えるにいたっております。

10周年記念

←地区だより

す。会員は九州全域にわたり北九州市から沖縄まで幅広い活動を行ない、会員数においては全国17団体のうち6番目の規模となっております。

幸い、全建連の中央機関を通じて、次の様な協会活動にとりくんで参ることが出来ました。

1. 建設機の償却耐用年数の短縮
2. 全国建設機械賃貸料標準料金の算出
3. 全国大手建設業者との懇談会
4. 賃貸料金の安定化
5. 欧米同業者との交流(視察をかねて)

その他、的確なる情報の入手や情報の交換が各会員会社の経営の方針をみきわめる上で大いに役立っていることはいうまでもありません。さらに現在すすめていただいている。

1. 業種指定の申請

1. 登録制度の推進

1. 賃貸料金の安定化

など、これが早期実現に当協会としても、積極的に協力して参りたいと思っております。

なかでも、賃貸料金の安定化につきましては、全建連では「流通研究委員会」でレンタル料金のガイドライン表の作成にとりくまれており、当協

会でも、それぞれ重機部会、軽機部会、仮設部会の3部会にわかれて、この料金問題にとりくみ、その効果が少しづつ、あがってきているのが現状であります。

しかしながら、この業界の企業環境はことのほか厳しく、この時代をどう乗り切るかは、我々同業者がこれもどう受けとめるかにかかっていると云っても過言ではありません。

即ち

1. 安易な業者間の競争をさけて投資過多を抑制する。
2. 各社の経営状態にあった強い商品を生み出す。
3. 遊休機材の相互活用を図る。
4. 機械の保守管理技術の向上を図る。

などの施策を必要としています。

今回の10周年を一つの節目として、全建連の中央組織と我々支部組織との協力体制を、さらに密にして、共に此の業界の地位の向上のために「あゆみ」を続けていくことを、お願いいたしまして、簡単ではございますが、ごあいさついたします。

1980名簿作製協力依頼について

下記調査表を各地区協会に発送致しましたので、必ず期日迄にご回答いただけますようご協力願います。

昭和54年 月 日	
正・賛 社団法人 全国建設機械リース業連合会 御中	
社団法人 全国建設機械リース業連合会	
地区協会名→	
地区協会№→	
1980名簿調査表	
会社名	
代表者名	
電話番号	市外ダイヤル () 局番 () - ()
〒	
所在地	
主な取扱い機械資材 ※5機種以内	①
	②
	③
	④
	⑤
備考	昭和54年11月10日迄に 夫々の 地区 協会宛て返送下さい。 (期日厳守, 記載は昭和54年11月1日現在で願います,) 左上の正・賛(正会員・賛助会員)の区別により○印で囲んで下さい。

水処理の合理化を推進する! アイム水中ポンプ

水処理を思考して20年 アイム水中ポンプは 幅広い分野にわたる専用機種を生みだし 求められるパワーを十分に発揮して ささやかながら水処理の合理化に邁進しております。

充実した専用機種シリーズより きつのご使用条件に応えられる最適のポンプをお選びいただくと 確信いたしております。

超軽量 (1.5KW~5.5KW 5機種)

「サン」シリーズ水中ポンプ

持ち運び便利な (250W~400W 2機種)

単相水中ポンプ

土木建築の工事現場に (0.75KW~45KW 15機種)

汎用水中ポンプ

長期間連続使用に耐える (3.7KW~11KW 4機種)

ディープウェル水中ポンプ

湧水を一気に60~180m押しあげる (22KW~110KW 10機種)

高揚程水中ポンプ

砂・砂利採集に (2.2KW~110KW 17機種)

強力サンド水中ポンプ



「サン」シリーズ

口径4吋：重量30kg



水を身近かに考える

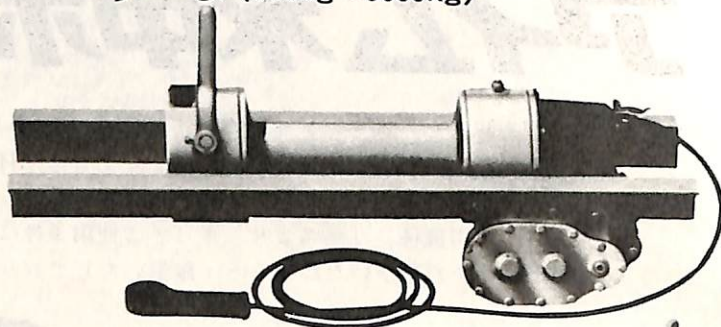
アイム電機工業株式会社

本社・工場 福岡県遠賀郡水巻町大字猪熊 TEL093(602)4141代
東京支店 東京都品川区南大井6-21-13 TEL 03(766)4131代
大阪・名古屋・札幌・仙台・新潟・千葉・君津・和歌山・新居浜・広島・福岡

バッテリーが力になります!!

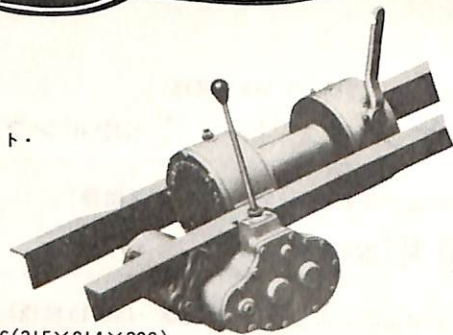
(12V, 24V) (300kg→3600kg)

米国の世界最大の小型ウインチメーカー、ラムゼイ社が「車載用、船舶用、工業用」等、あらゆる分野で簡単に使用できることを目的として、開発したバッテリー（12V, 24V）を動力源とする小型、強力なウインチがDC200、DC2-246です。



仕様

- 動力源 12V又は24Vバッテリー
- プレーキ ウォームギアによるセルフロック
- クラッチ 手動式
- リモートコントロール ワンタッチ取外し可能な、3ウェイリモートコントロールスイッチ
- 最大牽引力 3600kg (DC2-246のハイスピードの場合は1800kg)
- ロープ・スピード 6m(1分間)、DC2-246のハイスピードの場合は、10m(1分間)
- ドラム容量 80m(8ミリワイヤー)
- 本体重量 DC200(59kg)、DC2-246(66kg)
- サイズ(奥行×ヨコ×高さmm) DC200(344×633×252) DC2-246(315×914×398)

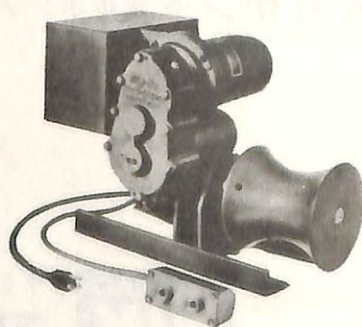


マイトポールマウントウインチ

米国マイト社が、土木建築、電柱作業、船舶等広い範囲で、高所に重量物を掲げることが目的として開発した、持ち運び便利な、小型軽量のキャブスタンウインチです。(下の写真参照)

仕様

- 動力源 12Vバッテリー又は100-115V家庭用電源
- 最大吊上げ能力 シングルライン300kg、ダブルライン600kg
- リモートコントロール 足踏み式、リモートコントロールスイッチ
- ロープ速度 12Vバッテリー仕様 10m/分
100-115VAC仕様 18m/分
- 本体重量 27kg
- サイズ(奥行×ヨコ×高さmm) 305×457×406



株式会社 **サン自動車工業**

本社：東京都世田谷区砧公園2番3号 〒157
TEL(03)709-5051(代)
支社：仙台、沖縄

● かわいいカタログをお送りします。本社ウインチ係まで。

働きぶりが現場で人気。

リース・レンタルに最適!

ヤンマー・クローバックホー

1トントラックで運べる「小柄な大物」

YB400(ゴムクローラタイプ)

- エンジン出力:9馬力
- 標準/バケット容量:0.04m³
- 最大掘削深さ:1300mm
- 最大掘削力:1150kg

マイホレ

機械重量
900kg



ヤンマー・クローバックホー

4トントラックで運べる

パワフルな小形

YB1800S(静音タイプ)

- エンジン出力:36馬力(ターボチャージャー付)
- 標準/バケット容量:0.18m³
- 最大掘削深さ:3300mm
- 最大掘削力:2900kg

機械重量
3990kg



静音

ヤンマー・ホイールキャリヤ

トラックの入れない現場で大活躍

ディーゼル8輪駆動運搬車

YFW15DW

- エンジン出力:15馬力
- 積載能力:1500kg
- 登坂角:30度
- 走行速度:1.0~14.9km/h



ヤンマー・防音ポータブル発電機

住宅密集地・夜間作業も安心

音の静かな防音発電機

YPG60AS(防音タイプ)

- 発電容量:50/60kVA・40/48kW
- 相数:3相4線式



防音

ヤンマー建設機械



ヤンマーディーゼル株式会社

本社/大阪市北区茶屋町1番32号 〒530 TEL.(06)372-1111(代)
支社/東京 支店/札幌・名古屋・大阪・高松・広島・福岡 営業所/仙台
● かわいいカタログをお送りします(本社・宣伝部 まで)

アイチの特装車輛をひとこと言えば「高稼働設計」。
 まずトラックタイプならではの、すぐれた機動性。
 過酷な使用にも耐える耐久性。
 心おきなく作業に専念できる高い安全性。
 そして、使いやすさを尊重した操作性——。
 これらの機能がトータルな形でエンドユーザーの
 メリットに直結し、大きな利益をもたらします。
 すべての面で「稼げる」クルマです。
 機種は、トラック・クレーン、高所作業車、
 トラック・バックホーなど、多彩な顔ぶれ。
 建設・荷役や電気通信工事、都市土木など
 広い分野に用途が開かれています。



愛知車輛株式会社
 東京支店…☎03 (553)6221☎ 名古屋支店…☎052(621)5112☎
 大阪支店…☎06 (968)7731☎ 営業本部…☎0487(81)1111☎
 愛知車輛北海道販売(株)☎011(641)3141☎ 愛知車輛北陸販売(株)☎0764(34)2181☎
 愛知車輛中国販売(株)☎0822(85)0201☎ 愛知車輛九州販売(株)☎09293(5)5353☎
 ◎カタログを差し上げます。最寄りの営業所へご請求ください。

「稼働性」の良さで
 おすすめください。

Lease No.1



SKYMASTER SH-165
 地上揚程=16.5m
 定格荷重=200kg

HYDRA CRANE F-301
 最大地上揚程=11.2m(メイン)
 13.8m(サブ)
 最大定格総荷重=2,930kg(メイン)
 780kg(サブ)

TRUCK BACKHOE B-165
 掘削深さ=3.70m
 最大リーチ=6.10m
 パケツ幅=0.45m

SKYMASTER SC-080
 地上揚程=8.0m
 定格荷重=200kg
 耐電圧=20KV

●生まれ変わったリース機械賠償責任保険

●拡充された担保内容

貴社施設内保管中
 貴社敷地内でのリース機械の管理
 ミスによる第三者による賠償事故



ユーザー作業現場で

- | | | |
|--|--|---|
| ●貴社が請負ったリース機械の組立てや分解、解体、撤収作業ミスで発生した第三者賠償事故 | ●リース機械、機材の整備点検ミスによりリース機械引渡し後に発生した第三者賠償事故 | ●リース契約終了後、リース機械機材の引きとりまでの間の管理ミスによる第三者賠償事故 |
|--|--|---|

●大幅に引き上げられたたてん補限度額

身体賠償(対人)	1人につき	3,000万円
	1事故につき	6,000万円
財物賠償(対物)	1事故につき	500万円

(自己負担額：対人・対物とも1事故1,000円)

●近々ご案内

- (1)会員各社の総合災害保障制度
 - 経営者役員災害保障プラン、従業員就労災害保障プランで充実した企業経営を!
- (2)建設機械サブリース保険
 - 貴社があつかうサブリース機械をそのリース期間中に火災、盗難、破損等の事故により当該機械の貸主に対して貴社が負わなければならない法律上の損害賠償を保険としてお支払いする保険です。

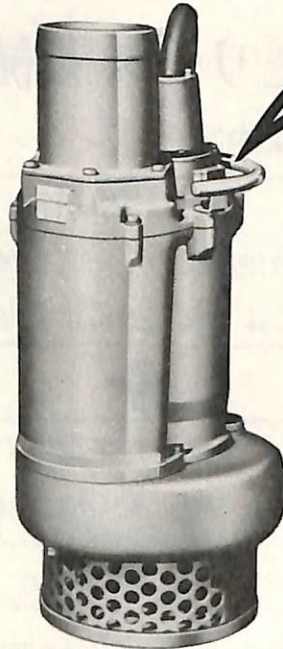
まだ、ご存知ない会員の皆様も是非所属協会または下記へお問い合わせ下さい。

引受保険会社 **AIU 保険会社**
 (エイアイユー インシュアランス カンパニー)
 横浜支店：横浜市中区日本大通り18マースクビル8F
 TEL 045-(651)-1821

取扱代理店 株式会社 **サンテイ**
 本店：横浜市中区日本大通り18マースクビル8F
 TEL 045-(662)-8478代表
 東京支店：東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル1211号
 P.O BOX 98 TEL 03-(431)2713



KRS 200^M/Mシリーズ 4タイプ



一目で水中ポンプの使用時間
がわかる
ライフチェッカー内蔵



業界初!! 15kw
19kw
22kwに
サークル・サーマル
プロテクター内蔵

水中ポンプ

ライフチェッカー付

KRS型

工事一般排水用
2.2kw~22kwまで10機種



水中ポンプ ハリー

ライフチェッカー付

HY型

工事一般排水用
3kw



高揚程水中ポンプ

ライフチェッカー付

KTV型

工事一般排水用
0.75kw~11kwまで14機種



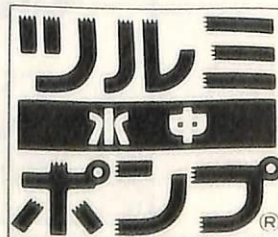
株式会社ツルミポンプ

〒110 東京都台東区台東4-27-4(アイデアル第5ビル) ☎(03)833-9765

ツルミインダストリアル株式会社

〒550 大阪市西区南堀江4-9-35 ☎(06)541-8336

株式会社 鶴見製作所 本社: 大阪市鶴見区鶴見4-16-40 ☎(06)911-2355



会員名簿

社団法人全国建設機械リース業連合会

会長 山内 鹿蔵

事務局 東京都千代田区神田駿河台2-1
近江兄弟社ビル4F

〒101 電話03(293)7273~4

会員名称	代表者名	事務局所在地	電話	〒
北海道建設機械リース業協会	伊藤 鉄雄	北海道札幌市中央区大通り東3丁目 (株)大鉄内	011 241-5086	060
青森県建設機械リース業協会	高橋 弘一	青森県青森市港町1-7-1 (株)高重組内	0177 41-6531	030
宮城県建設機械リース業協会	阿部 喜平	宮城県仙台市福室字高砂駅東17宮城県建設機械中古市場内	0222 59-0631	983
福島県建設機械仮設リース業協会	坂本 市郎	福島県郡山市富田町字向館121-23	0249 52-0588	963
東京建設機械リース業協会	山内 鹿蔵	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03-294 4071~2	101
日本重機械リース業協会	藤井 岸治	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03 295-1820	101
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	神奈川県横浜市平沼1-2-23 中村ビル	045 322-0613	220
静岡県建設機械リース業協会	松井 重雄	静岡県浜松市安間町264-1 大興産業(株)内	0534 21-1131	435
静岡県重機建設業協会	近藤 憲一	静岡県静岡市下川原6-24-14	0542 59-7542	421-01
中部建設機械リース業協会	坂井 照	愛知県名古屋市西区藤ノ宮通り3-43 小出ビル内	052 571-2080	451
石川県建設機械リース業協会	吉川 義孝	石川県金沢市元菊町14-10 (株)ケンシン内	0762 33-1217	920
福井県建設機械リース業協会	松田 確太郎	福井県福井市下河北町一字町永25-1 ケンキリース(株)内	0776 38-1580	919-03
大阪建設機械リース協同組合	永田 仁作	大阪府大阪市浪速区桜川3-1-12 脇田第1ビル内	06 562-1987	556
兵庫県建設機械リース業協同組合	桐月 正邦	兵庫県神戸市生田区多聞通り3-5 甲南スカイビル4F316号	078 361-2481	650
中国建設機械リース業協会	野口 誠輔	広島県福山市曙町3丁目252-2 富野機工(株)内	0849 53-3033	720
四国建設機械リース業協会	木下 浅一	香川県高松市春日町795 (株)田中鉄工所内	0878 41-2105	761-01
九州建設機械リース業協会	林田陽一郎	福岡県福岡市東区箱崎7-1-124 西鉄(株)建機営業部内	092 631-1331	812

編集後記



事務局便り

本号は、連合会創立10周年を記念する編集としました。特集号とまではなりませんでしたが、それなりに10周年に関係のある御寄稿を集めています。

巻頭の山内会長の挨拶文にはじまり、関係官公庁、顧問諸先生の祝辞、連合会に加盟されている各団体の会長諸兄の玉稿を掲載しております。そのいずれの文章にも、10周年という一つの節を迎えた連合会に対する将来への期待が感じられ、我々も改めて気持を引き締めなければならないと思っております。

亦、各団体の会長諸兄の文章には、連合会の一員としての抱負と、業界発展の為に真摯な協力の気持が述べられており、連合会に席を置くものとして非常に力強く思われ、共に手を取り、足並みを揃えて、つぎの新しい節を目標に努力して参りたいと考えております。

連合会発展の為に、この会報がより充実したものとすべく、私も心を新たにして編集に取組みたい所存なので、全会員の深き御理解と適切な御指導を賜わることをお願いする次第です。

連合会副会長・広報委員長
中村 憲

事務局からのお願いを4項目程書かさせていただきます。

1. 地区、協会、協組合員中に慶弔が御座いました折は、本部事務局まで御連絡下さい。慶弔電を発電したいと存じます。
2. 各種の調査に御協力方を御依頼申し上げますが、期日までに御回答頂けますようお願い申し上げます。
3. 会員の皆様(地区)の住所、電話番号、その他の移動がありました節は、地区、協会、協組でとりまとめて事務局に御一報下さい。本部名簿の訂正に資したいので御依頼申し上げます。
4. 来年2月発行予定の会員名簿の作製にとりかかりました。調査表にご記入の上、地区協会宛11月10日迄に必着方(厳守)よろしくご協力下さい。地区協会は本部事務局宛11月15日迄に一括ご回送下さい。(香取)



「八幡馬」

青森県建設機械リース業協会より連合会事務局へ

会報 第13号秋季号

発行/昭和54年10月15日、発行者/(社)全国建設機械リース業連合会
東京都千代田区神田駿河台2-1近江兄弟ビル4F(〒101) TEL03(293)7273~4
発行責任者/広報委員長 中村 憲
制作/ノダ企画・東京都文京区湯島1-11-14共和ビル(〒113) TEL03(815)3640

日車 サリスクリュー

防音型コンプレッサー

PS-35S

PS-50S

PS-105S

総代理店



日能工機株式会社

東京都中央区八丁堀1-11-5 TEL 552-9551

発売二年余

着実に実績を伸ばしています。白地にグリーンラインの日車防音型スクリュー・コンプレッサーPSシリーズどこまでも静かです。一度お試しください。



NISSHA SULLISCREW

独自の技術でリードする…

●世界で最も良く **エアマン** ●世界で最も安い

PDS-175S型



防音型 ディーゼル発電機

●12KVA～300KVA



PDG40S型

小型単相発電機(0.5KW～2.5KW)

防音型 ポータブルコンプレッサー

●20PS(2.0m³/min)～350PS(34.0m³/min)

振動プレート



69kg～120kg

振動ランマー



69kg～100kg



北越工業株式会社

新潟本社・工場 ●新潟県西蒲原郡部分水町大武新田113 1 ●TELEX3193694エアマンニイカタ ●TEL (02569)7 3201(大代) ●〒959 01
 東京本社・支店 ●東京都中野区中野3 34 32 ●TELEX2324042AIRMAN ●TEL (03)382 1221(大代) ●〒164
 大阪支店 ●大阪府摂津市新在家2丁目32番13号 ●TELEX5236912エアマンオオサカ ●TEL (06)349 3631(大代) ●〒564
 営業所 ●札幌 盛岡 仙台 郡山 新潟 宇都宮 高崎 千葉 横浜 松本 静岡 名古屋 金沢 京都 高松 広島 岡山 福岡 鹿児島 大分 沖縄